令和8年度広島県職員採用案内デザイン及び版下作成業務 公募型プロポーザル選定委員会議事録(議事要旨)

	 項 目	内 容
1	日 時	令和7年11月6日
2	場所	_
3	出席委員	・人事委員会事務局公務員課長・人事委員会事務局合同総務課主任・総務局人事課主任・総務局人材マネジメント担当主事・教育委員会事務局総務課主任
4	議題	令和8年度広島県職員採用案内デザイン及び版下作成業務の企画提案内容の審査
5	担当部署	人事委員会事務局公務員課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	提案された企画提案書を基に、選定委員会に審査の上、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。 A社:株式会社リブリッジ B社:東光印刷株式会社 C社:株式会社ニューズコム 審査対象者の評価値については別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 各選定委員の主な評価・選定理由については次のとおり。 (A社) ・コンセプトやメインビジュアルは現行のパンフレットと大きな違いはなく、新しさはないが、継続性や手堅さは感じられる。 ・趣旨を十分に理解したうえで、自社ならではの分析・提案がなされている。・ターゲット層に対するアプローチ方法が明確に示されており、採用希望者増加への期待が持てる。 ・端的で分かりやすいキャッチコピーとなっており、潜在層への訴求が期待できる。 ・「県職員に興味がない者でも手に取りたくなるような」という部分に対しての具体的な工夫が分からなかった。 ・一目で「行政」の採用パンフレットと認識できるデザインになってしまっており、デザインのバリエーションも少なく、興味のない者が手に取るイメージは湧かない。 ・一目見た時に広島県のパンフレットということが分かりづらい。・実施体制や類似業務の実績が不明瞭だった。 ・各ページのレイアウトイメージが不明瞭だった。 ・経費の詳細が記載されていない。

(B社)

- ・県職員に興味のない者でも手にとりたくなるような、良い意味で「行政感」の ないデザインになっている。
- ・職種の紹介(先輩職員インタビュー)は、現行のものをベースに、読みやすく レイアウトされている。
- ・デザインや色味に一貫性があり、パンフレット全体につながりを感じる。
- ・シンプルだが受験者が得たい情報は漏れなく組み込まれており、バランスが良い。
- ・実施体制が明瞭で、業務の円滑な執行が期待できる。
- ・客観的なデータの提示が分かりやすく、求職者が入庁後のイメージをしやす いものとなっている。
- ・同業種の採用パンフレットも手がけており、また、これまで手がけたパンフレットも目的に応じた多様なデザインが施されており、当応募者の幅広いスキルが感じ取れた。
- ・作成物の単価が明示されており、分かりやすい。
- ・複数の表紙デザインを提案された点は意欲的な提案として評価できるが、いずれも職員採用パンフレットであることが分かりにくい。

(C社)

- ・何気なくラックに置いてあっても、思わず目に入ってくるデザインで、良い意味で行政の採用パンフレットには見えない。
- ・デザインもコラム企画も新しい印象。斬新で企画のコンセプトに合っている。
- ・ページデザインについては、イラストや明るい配色を使用しており、県庁のイメージを刷新できると感じた。
- ・少し文章が多く、読み手が簡潔に情報を得ることができないと感じた。
- ・コンセプトが職員採用と結びつくものなのか、分かりづらい。
- キャッチコピーに込められたメッセージが、やや伝わりにくいのではないかと感じた。
- ・実施体制が不明瞭だった。
- ・仕様書にて納品日を2月6日と示しているのに対し、3月末の納品となっており、スケジュールに不安がある。
- ※「7議事内容」については、委員の発言、質疑応答、会議で協議された内容、評価・選定理由などについて、具体的に記載すること。
- ※議事要旨を作成し公開する場合は、「7議事内容」について、提案者ごと、評価項目ごとの評価・ 選定理由などについて記載することとし、不開示情報は記載しないこと。
- ※公開にあたっては、不開示情報が記載されていないことを十分にチェックした上で行うこと。